



基本方針

- (1) 急性期医療を中心に、信頼される高度医療を目指します。
- (2) 救急告示病院の使命を認識し、更なる救急医療の充実向上に努めます。
- (3) チーム医療を推進して、急性期から慢性期、在宅医療までの一貫した医療、看護、介護サービスを提供します。
- (4) 予防医学の充実と健康教育に力を注ぎ、地域の皆さまの心身の健康管理を支えます。
- (5) 地域の病院、診療所、諸施設、公的機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
- (6) 患者さまの意志を尊重し、十分納得していただける医療、看護、介護に努めます。
- (7) 全職員は常に最新の医療、看護、介護の研鑽に努めます。



求められる チーム医療

理事長・総院長
野島 丈夫



平成22年度も早や4ヶ月が経過しました。猛暑の今夏、急性期・慢性期・在宅医療とも多忙な日々が続いています。

患者さまの立場にたつて安全で良質かつ高度な医療を提供できる病院を目指すという十字会の理念のもとに現状を考えると、より一層チーム医療の必要性を感じます。

医療現場においては、医師の指示のもとに診断と治療がすすめられていくことは医療の王道でありますが、医療技術の高度化や多様化に伴い医療・看護・介護を医師一人で把握することは困難な状況となつてきており、チーム医療が重要となります。

入院にあつて、主治医が治療方針を決定しますが、同一科内でその治療についてカンファレンスを開き更に検討します。医師の治療方針に基づいて看護計画・介護計画・リハビリ治療計画・放射線計画・栄養計画などを立てていきます。退院後の目標を伺い、それに沿つて患者さま・ご家族とともに退院計画、在宅治療計画も進めていきます。カンファレンスを通して理解を深めます。これがチーム医療の基礎となります。

医師、看護師、コメディカル、事務職がお互いの専門性を尊重し認め合い、患者さまの早期回復のために職種間の垣根をのりこえ、対等の立場で徹底した協議をすることが求められています。一粒一粒の実りが葡萄の房を作り、一房一房の实りが葡萄の樹を豊かにするように、豊かな病院、豊かな施設となることを願っています。

財団法人 日本医療機能評価機構認定病院 認定第JC413-2号 審査体制区分3(ver.6.0)

医療法人十字会

野島病院	TEL: (0858) 22-6231	FAX: (0858) 22-6843	指定居宅介護支援事業所のじま	TEL: (0858) 22-7121	FAX: (0858) 23-7122
介護老人保健施設のじま	TEL: (0858) 23-7100	FAX: (0858) 23-7101	明倫・小鴨地域包括支援センター	TEL: (0858) 23-7106	FAX: (0858) 23-7122
デイケアセンターのじま	TEL: (0858) 23-8005	FAX: (0858) 23-8006	倉吉市障害者地域生活支援センター	TEL: (0858) 22-6239	FAX: (0858) 23-7122
訪問看護ステーションのじま	TEL: (0858) 23-7104	FAX: (0858) 23-7122	はっぴい		
訪問介護ステーションのじま	TEL: (0858) 23-7107	FAX: (0858) 23-7122	すくすく園(病後児保育)	TEL: (0858) 22-6231	



診療科紹介

【神経内科】

部長 下田 学
医長 三宅正大
安井建一（鳥大）

◇神経内科とは◇

神経内科は以下のような症状を持った患者さまを対象に診療を行っています。

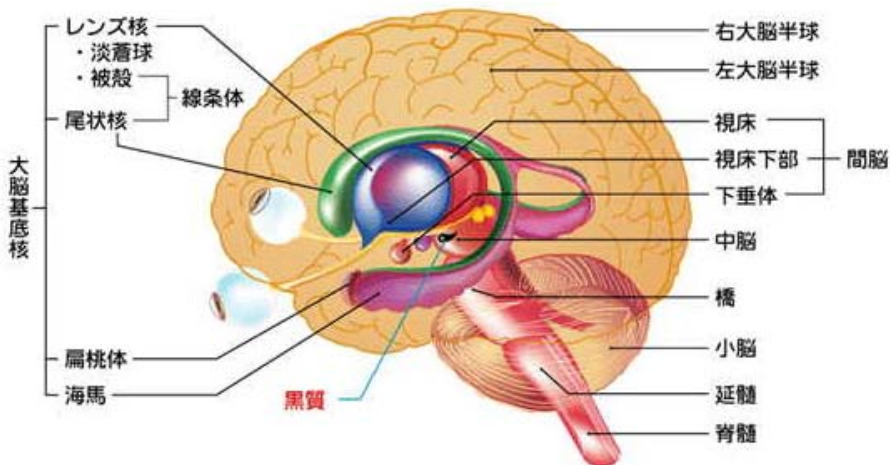
- 手足がしびれる、力が入りにくい、しゃべりにくい
- 頭が痛い
- 目が回る
- 手足がふるえる、身体がこわばる、ふらふらしてうまく歩けない
- 意識が遠のく、けいれん
- 物事をよく忘れる など

取り扱う疾患は、脳梗塞・一過性脳虚血・片頭痛・緊張型頭痛・メニエール病・良性発作性頭位めまい・パーキンソン病・多系統萎縮症・髄膜炎・脳炎・てんかん・顔面神経麻痺・ギランバレー症候群・筋炎・重症筋無力症・アルツハイマー型認知症などで、点滴・内服などの薬物療法、必要であればリハビリテーションも含めた治療を行います。

その中で今回はパーキンソン病について解説します。

○パーキンソン病とは○

症状は、手足のふるえ・筋肉のこわばり・動作が鈍い・転びやすい等です。



○中脳の神経細胞の変性・減少により、神経伝達物質（ドパミン）が減少し、発症します。

ドパミンは中脳の黒質がつくる物質で、運動機能に重要なはたらきをする物質です。

大脳の線条体に送られ、筋肉に運動の指示を出す役割をしています。

○主に50歳以降の高齢に発症し、人口10万人あたり100人程度ですが、社会の高齢化に伴い増加傾向です。生命予後は一般の人と大差ありません。

厚生労働省の難病に指定されていますが、最も研究が進んでいる難病の一つです。様々な治療薬が開発されており、症状の進行をかなり抑えられる例もあります。

第7回 日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会

平成22年7月3日 倉吉未来中心

日本医療マネジメント学会の支部会として、鳥取支部学術集会が平成16年から年1回開催されています。本年は、当院から3テーマの発表がありました。

- ◇「当院における脳梗塞クリティカルパス導入への取り組み」
発表者：神経内科医師 三宅正大
- ◇「Primary Education からみた management」
発表者：理学療法士 可成孝多
- ◇「外科病棟における新人教育プログラムの構築」
発表者：看護師 田中まゆみ

「認知症ケア-養成講座」

～認知症について正しく理解し看護・支援するには～

5/26～7/8の間、4回に分けて、認知症ケア-養成講座が開催されました。

この講座は、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を温かい目で見守ることを目的としています。はじめに「キャランメイト」である“のじま在宅部門センター”スタッフによる「認知症とは？」「認知症ケア-にできること」などの説明がありました。引き続き、精神科・心療内科診療部長 熊谷先生に、より専門的な講義をしていただき、認知症について深く理解することができ、とても勉強になりました。

受講者には後日、修了証とレゾリングが配布されました。

認知症ケア-として、地域で認知症の方が安心して暮らせるよう心がけましょう。



熊谷先生

※「キャランメイト」・・・都道府県・市町村等自治体が実施する養成研修を受講された方(受講条件必要)
十字会：石村朋子、清水啓子、森下朋子、池口満張、山本美智子、福井郁代、進木紀子、川本妙子

【ご案内】

マンモ室



最新のマンモグラフィ装置（乳房撮影装置）の導入と同時に新たにマンモ室を設け、患者さまにリラックスして検査を受けていただける空間になりました。

乳癌学会認定医の林英一先生（次頁紹介）が6月に赴任され、乳癌検診、乳腺・内分泌外科外来・入院治療が更に充実しました。

林先生：「中部地区の乳腺疾患を全て引き受けます。検診・外来どうぞおいで下さい。お待ちしております」

乳腺・内分泌外科外来、検診：毎週火・水 午前

～手作り車椅子クッション作成！～

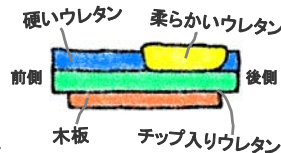
リハビリテーション科
科長 生原 加奈江

長時間車椅子に座っておられる患者さまの苦痛を少しでも和らげようという熱い思いをもった谷口PT、竹内PTが中心になって、リハビリ科で手作りの車椅子クッションを作成しました。

昨年からの計画を立て、他の病院へ研修に行ったり、業者の方の協力も得て素材に研究を重ね、職員で各工程を分業しながら、1枚当たり約2時間で完成出来るようになりました。市販品は1万円～5万円と非常に高価ですが、安価な材料を使用し約3千円、2時間程度で出来上がりです。

実際に使用された看護師や患者さまからは「坐面がたわむこともなく姿勢の崩れが少なくなった」「硬すぎず柔らかすぎず、一日中でも座ってられる」と高評価を得ています。

このたび、第1号作品が20枚完成しました。院内でこのクッションを見かけたら、一度座り心地を試してみてください！！



Mimosa ミモザ な空間



サッカーW杯、参院選挙に沸いた日本列島も、今は暑さの坩堝の中にある。
●日本代表も民主党も、勝つ使命を帯びての戦いだっただ。
日本代表は「負けないサッカー」へと急転換し、16強入りを果し熱狂の中を去って行った。
その熱狂に入れないまま新聞記事に読み入った。

7月の朝日新聞より抜粋（紙面の関係で省略等あり）

- * 大会前に監督を「無能」呼ばわりしていたメディアやサポーターが、手の平を返したように「名将」と持ち上げ始めたのは不気味でさえあった。カメルーン戦を見た英国記者から「アンチ・フットボール」と聞かされ、ドイツ人知人は、日本に敗れたデンマークを戦術ミスで自滅した「愚か者」と評した。「目の前の相手に勝てばいいじゃないか」という割り切った姿勢からは、強くなるための長期的ビジョンが全く感じられなかった。根本的な問題を直視せず、対症療法的に小さな成功を収め、祝祭の後に課題が先送りされるのだとしたら、この日本という国の姿とそっくりだ」
- * パラグアイ戦後の世論の動きに「PK負けで終わった16強という微妙な結果を、ハッピーエンドのストーリーにまとめ上げようとする強い力を感じる。同時期に大相撲事件が起き、仲の良さそうな日本代表が余計に美しく魅力的に見える。メディアと視聴者・読者の相互作用によって大衆に受け入れられやすい物語が作られている」
- * サッカーには、選手や観客の国籍とは無縁に、見る者すべてを感動させてくれる瞬間があるのです。「感動をありがとう」なんて個々のプレーの素晴らしさを見てない人にしか言えない言葉。日本代表への熱狂も「たまたま自分と同じ国籍の持ち主がすごい事やった」と喜んでいるだけでブチ・ナショナリズムの水準。優れたプレーがもたらす驚きに心を広げてほしい。

6月19日 夜 日本-オランダ戦を伝える古い小さなテレビの傍らで、NHK「沖縄返還“密約”の真実～密使・若泉敬 封印された生涯」を痛ましい思いで見入っていた。

7月12日 未明 守備の安定と確実なショートパスで手堅く攻めたスペイン。
小さな選手がポンポンとパスをまわして、パスサッカーを最後まで貫いたスペインの美しい勝利。

Small is beautiful . . .

医師紹介

(6月に着任された先生です)



林 英一
(はやし えいち)

<担当診療科>
乳腺・内分泌外科

<趣味>
ゴルフ・庭の芝刈り・パスタ料理
<特技>
剣道四段・グランドゴルフ
<抱負>
中部地区の乳腺と甲状腺疾患を一手に引き受けたい
ゴルフ同好会をつかって、皆でゴルフ旅行に行きたい
(初心者大歓迎)
<自己PR>
見た目はおとなしそうですが、内に秘めた闘志はなかなかのものです。皆と一緒に何かをやっていく、何かを創り上げていくことが好きです。早くいろんな方と知り合いになり、仕事はもちろん、仕事以外の面でも頑張っていきたいと思っています。どうかよろしくお願いたします。

七夕まつり

のびっこ園 7月7日

さ・さ・の・は・サ〜ラサラ〜♪
みんなでつかって飾ったよ★とても楽しかったね★



回復期リハビリテーション病棟
(7階病棟)

7月15日

7階回復期病棟でも、リハビリスタッフを交えて七夕まつりで楽しい時を過ごしました



すくすく園 (乳幼児健康支援デイサービス事業施設)

市の委託により中部地域の保育園児の病後児保育を行っております

外来診療担当表

(午前) ◆診療時間◆ 午前9時から正午まで

(平成22年8月1日現在)

診療科	月	火	水	木	金	土	日
脳神経外科	野島 (総院長)	宍戸	中島定	宍戸	野島 (総院長)		
	竹内	---	---	竹内	---		
外科・肛門科	山本 (院長)	牧野	牧野	山本 (院長)	宇奈手		
乳腺・内分泌外科	---	林	林	---	---		
整形外科	中島匡	名島	中島匡	萩野	名島		
消化器科初診当番	山本 (院長)	三村	牧野	萬	宇奈手		
内科	一診	宮崎	石村唯	宮崎	石村唯	宮崎	休診
	二診	萬	三村	石村昌	萬	三村	
	三診	石村昌	井川 宮本	山本玲	池田	古瀬 (隔週)	
神経内科	下田	安井	三宅	下田	三宅		
精神科・心療内科	熊谷	熊谷	熊谷	熊谷	熊谷		
泌尿器科	武中	---	瀬島	---	井上		
眼科	魚谷	松浦 魚谷	松浦 魚谷	松浦	松浦 魚谷		
耳鼻咽喉科	鳥大医師	---	鳥大医師	---	鳥大医師		
形成外科	中山	---	陶山	---	---		
人間ドック	細田	細田	細田	細田	神波		
脳ドック	中島定	下田	宍戸	三宅	竹内		

(午後) ◆診療時間◆ 午後2時から午後5時まで

診療科	月	火	水	木	金	土	日
総合外来	萬 三宅	石村昌 下田 宮崎	野島 (総院長)	鳥大医師 (外科)	神波		
眼科	魚谷	松浦 魚谷	鳥大医師 (予約のみ)	松浦 (手術日)	松浦 魚谷		
泌尿器科	武中	---	瀬島	---	---		

◆受付時間◆

午前8時30分から午後4時まで

(注) 眼科の午後の診療は、紹介の方と予約の方を中心と致します
(注) 泌尿器科の午後の診療は、2時から4時までと致します

◆休日◆

土曜日、日曜日、祝日、祭日、
お盆(8月14, 15日)、
年末年始(12月31日, 1月1, 2, 3日)

編集後記

暑さ厳しい日が続いていますが、皆さま如何お過ごしでしょうか？表紙には、冷たくみずみずしい果実が、潤いた喉を潤してくれる・・・そんな至福の一時がイメージできる“たわわに実った巨峰”の写真を採用しました。まさに“涼”を感じることができるNice shotだと思います。みなさんは、どんなシーンに“涼”を感じますか？

これからまだまだ暑い日が続きます。熱中症には十分に気をつけて、みなさんなりの“涼”でこの夏をのりきりましょう。

野儀

発行所：

〒682-0863

鳥取県倉吉市瀬崎町2714-1

ホームページURL：

<http://nojima-hospital.jp>

代表E-mail：

info@nojima-hospital.or.jp

地域医療連携室専用E-mail：

renkei@nojima-hospital.or.jp

腹話術人形

デイケアセンターのじま
主任 木下 勉

利用者の方に何かイベントを与え、楽しんでもらえるような事ができないか考えていたところ、腹話術人形なら利用者の方のリアクションを上手くひきだすことができるのではないかと思い、サービスの時間に取り入れてみることにしました。その予想的中し、腹話術人形を取り入れてからというもの、利用者の皆さんの反応がすごく良くなったような気がします。

この腹話術人形は、既製品を買えば15万円くらいでとても高価です。それなら自分で作ろうと手作りました。製作費用は何と1,000円以内です。

これからも利用者の皆さんからたくさん笑顔がもらえるよう2人仲良くやっていきたいと思っています。



僕の名前は“じまの のじくん”
デイケアに来られる利用者の方々に、とてもかわいがってもらっています

互助会 陶芸教室

互助会文化部の主催で、三朝町ふるさと健康村の津村鳥水さんを講師に招き、6月13日、20日に陶芸教室を行いました(参加総数45人)。思い思いの器を作成し、楽しい1日を過ごしました。互助会文化部では、12月に“テラリング”教室を予定しています。



焼き上がるのが楽しみです